

## ご挨拶

水桜会会長 内田 暖(S45 高)

今年は、元旦早々に能登の大地震があり、翌日にはその震災の救援物資を運ぶ任務の海上保安庁の飛行機が日航機と滑走路上で衝突事故を起こすという何とも嫌な年明けでした。地震も事故もいつ我身に降りかかるかかもしれず、注意して未来を信じて日々全力で生活していくしかないということだと感じます。その様な中、日頃皆様には水桜会活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

今年は4年ぶりにコロナの終息に伴い様々な会合が解禁となり、4月の「オール学習院の集い」も、飲酒等の制限はあるもののほぼ通常開催となります。

現在、大学プールの水質が非常に不安定で晩秋の練習はかなり高い頻度でできませんでした。屋外プールで尚且つ設備等の老朽化など理由は沢山あるのですが、そうかといって学校側が改善に前向きになってもらえないとしたら、非常に困ったことです。水質改善のための数多くの良い薬や、自動でプールの底を掃除してくれるロボットまで今は存在します。過去の学校との交渉では、現在のプールを、何とか存続に努力するとの約束はもらえています。現状維持から少しでも快適な環境になるように、地道に交渉していきたいと思えます。

最後に水桜会年会費について、嬉しくないことに年々納入額が減少傾向にあります。これ以上の減少は何としても避けたいと考え、これは水桜会と水泳部の存続にも関わります。この問題の解決策はただ一つです。卒業生が、限りなく100%に近く水桜会に入会し、何とか未来への投資と思って年会費を継続的に納めていただく以外にございません。どうかよろしく申し上げます。

## 2024年度 総会のご案内(会場：西2号館204)

第36回「オール学習院の集い」において、4年ぶりに皆様と顔を合わせての総会を開催いたします。会場が以前と変わりましたので、ご注意ください。総会終了後、同会場にて懇親会を行います。ご都合のつく方は是非ご参加いただき、忌憚のないご意見をお願いいたします。

日時：2024年4月14日(日) 10:30～

開場：西2号館204

水桜会事務局 渡邊 マリ(S48 女高)

## 水桜会公式LINEアカウントを開設、是非ご登録ください！

2001年度卒の阿部稔彦と申します、今回より水桜会公式LINEの担当になりました。多感な学生時代に多くの時間とエネルギーを使った水泳部に対し恩返しをしたいと思う様になり、この分野で一汗かこうとお引き受けした次第です。卒業後は三菱水球クラブに加入し、現在も細々継続中です。

公式LINE開設以降、あまりアップデート出来ておらず閲覧されていない方が殆どと認識しています(開設された方への不満ではありません)。今後は文書や写真を見つけやすい様整理し、OB・OGの皆様には学生当時を思い出してもらおうと同時に、現役との接点・交流を持つきっかけに活用してもらいたいと期待しています。これが本LINEの目的というか、私自身の想いです。

高等科から水球をやっているので従来水球の学生との接点が多かったのですが、今後は水球以外の方々とも意見交換をしながら運営に努めてまいりますので、ご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。 阿部 稔彦(H13大po)



水桜会公式LINE

## 五部対抗水泳大会について

※2024 年度開催の詳細については夏号にてお知らせ予定。

五部対抗水泳大会は、学習院水泳部に所属していた OB・OG、現役の学生たちが集まり、競技と親睦を深める懇親会の一環として開催されるイベントです。様々な年代の方々が参加し、競泳や水球などの種目で競い合います。過去には日本泳法の模範演技や全国インターハイ出場者の技術披露（飛び込み演技）など、多彩なプログラムで開催してきました。

このイベントは、単なるスポーツ大会以上の意味を持ちます。OB・OG と現役の学生たちが交流し、学校やチームの伝統を受け継ぎながら、新たな友情や絆を築く場として機能します。また、子供たちも参加して親子で楽しむ姿が見られることから、世代を超えた結束が感じられます。イベントの収益を目的とした T シャツやセームなど販売も行われ、現役支援が主たる活動業務である水泳部 OB・OG 会の水桜会の活動資金にも繋がります。このような取り組みは、学校やチームの組織力や団結力を高めるだけでなく、地域や社会との関わりを深める一助ともなります。

五部対抗水泳大会は、スポーツの楽しさや団体活動の意義を体現しています。参加者全員が笑顔で競技に挑み、交流を深める姿は、学校コミュニティの活力と結束力を象徴するものと言えます。同期の体育会系部活出身者の方々は口をそろえて、高等科の学生も含めて学生たちとの交流会を毎年外プールで実施できる水泳部の五部対抗を羨ましいと言われています。先輩方が培った歴史ある五部対抗をこれからも実施できることを誇りに思い、引き続き毎年開催していきたいと思えます。

皆様の参加をお待ちしております。(今年も 8 月下旬 or 9 月上旬開催予定)

矢島 嗣朗 (H07 大 po)

## 大学水球部門

水球部門は、現在プレーヤー 10 人 (3 年 4 名・2 年 4 名・1 年 2 名) マネージャー 7 名の総勢 17 名で活動しています。10 月に実施された関東秋季交流戦 (基本 2 部 10 校の新人戦のようなもので、今回は 1 部の慶応も参加) では、成蹊、慶応に次いで 3 位入賞しました。春のリーグ戦 (当校 4 位) で敗れた順天堂、国際武道という経験者揃いの強豪校に初めて勝利した快挙でした。11 月末にて目白でのプール締めをしてからは、室内プールを持つ他校 (学習院の大きな課題) に積極的に「出稽古」を重ね、チーム力向上を図っているところです。

今年度のリーグ戦は 5 月上旬からスタートの予定であり、セレクションを実施している上位校を本戦で撃破し、インカレ出場権 (2 部 2 位まで) を獲得することを目標としています。

学習院では、現在高等科が水球を行っておらず、経験者が 2 名しかいない言わば「雑草軍団」であり、ジュニアからの経験者が粒揃いの強豪校に勝利することは容易なことではありません。厳しい練習を日々積み重ね、メンタル面も含めて、一步一步総合力を高めていくことが必須です。3 月上旬からは、目白プールでの練習を再スタート、合宿も 3 月・5 月に目白で実施することとしています。

今年度のリーグ戦は、昨年同様有観客試合とする予定であり、OB・OG の皆様の応援は現役の励みと成りますので、是非お誘い合わせの上お越し下さい。また、目白プールへの応援も重ねてお願い申し上げます。

水球部門監督 石川 正孝 (S55 大 po)

## 大学競泳部門

本年も冬季期間の練習は男子中高等科、ルネサンス早稲田のプールをお借りして行っており、森本先生をはじめ、関係者の皆様には日頃の感謝の気持ちを込めて、厚く御礼申し上げます。今年は通常練習に加え 2 月 7 日から 10 日に福島県で合宿を行いました。郡山しんきん開成山プールで練習させ

ていただきました。このプールは地元の大会が行われるような場所ということもあり、レース水着を着て普段の練習では出し切れない様なスピード練習を混ぜた練習を行いました。今夏に向けて最大限の爆発力を発揮できることを期待しております。関東学生選手権まであと半年、大会の密度も高まり、部員たちのモチベーションも上昇していくことでしょう。

去年は学生達のメニュー作成や環境作りの上達がはっきりとわかる年でしたが、今年はより洗練されたように感じます。8月の関東学生選手権はもちろんのこと、そこまでも春季、夏季のレースがある為、これからの練習はより一層レースに向けたものになります。選手達の結果に興味を持っていただければ幸いです。夏の終わりに満足の笑みを浮かべる選手を願い・応援いただければと思います。

競泳部門コーチ 村田 陽甫 (H26 大 sw)

## 男子部水泳部

水桜会の皆様には、日頃より中・高等科水泳部にご支援頂きまして、心から感謝申し上げます。

令和5年度の中等科水泳部は12名の新人部員を迎え、総勢40名でスタートしました。初戦となった6月の成城学園戦は勝利し、8月にはコロナの影響で中止していた夏合宿を4年ぶりに再開することができ、卒業生の大学生・社会人コーチの指導の下、福島県棚倉で充実したトレーニングを行うことができました。8月末の筑波大附属戦は残念ながら惜敗となってしまいましたが、9月の東京都学年別大会では1年生が100m平泳ぎで8位に入賞することができました。3年生の引退試合となった11月の青山学院戦では勝利を収めることができ、試合後に2年生の主将へと代替わりしました。

高等科水泳部はコロナが落ち着き大会の制限がなくなり、目標を明確にして練習に励むことができました。夏休み中は普段の練習に加え、4日間の強化練習を行いました。そこではOBの方々がいらしてくださり、手厚いご指導のもと各自が伸ばしていきたい泳ぎを強化し努力致しました。現在、私達は大会や附属戦に向けて大学競泳部の方に作成して頂いたテクニック強化、持久力強化、kick/pull強化のメニューを週5日間練習しております。部員一同一丸となり、互いに高め合い、各自記録を伸ばしております。これからも練習に精進してまいります。水桜会の皆様には、今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

男子部コーチ 平井 輝 (大学競泳)

## 女子部水泳部

2023年夏季の活動報告をさせていただきます。7/21-23、高校関東大会が東京アクアティクスセンターで開催され、高一1名が、200m、400m自由形に出場。残念ながらインハイ標準は突破できませんでしたが来年度の佐賀インハイを目指します。7/15-16、都中学は制限タイムが厳しく5名の出場。全国、関東大会出場には及びませんでした。8/7-10は、合宿を再開。高三3名も参加。(昨年に続き、附属戦で引退せず参加することを嬉しく思います。)その3名を含め、8/15-16、高等科は東京アクアティクスセンターで初開催の十六校対抗水上競技大会(長水路)へ出場。高三も含めベスト更新、決勝進出者も多く、女子総合5位と健闘しました。運営委員会、役員をお手伝い頂きました女子部OGの皆様、ありがとうございました。8/20の新宿区民大会に中等科が出場し、総合優勝を果たしました。中等科はその後8/27の附属戦に臨み、フリーリレー杯は逃したものの、都中学での差を縮める成果を上げました。メドレーリレーは制し総合優勝を果たしました。来年のフリーリレー杯奪還を目指します。皆様には引き続きご支援の程、よろしくお願い致します。

女子部コーチ 時谷 一滋 (S61 高男)

会員だより ※OB・OGからのメッセージを紹介します。

佐藤 夏生 (H08 大 po)

マイナースポーツの水球を盛り上げるにはどうしたらよいか、私なりに考えてみた。水球は「水中の格闘技」と言われ、激しくキツイイメージを持たれているが、それが水球の人気につながるとは思えない。そもそも水球はそんなにハードな競技だと私は思っていない。コンタクトスポーツにおいて水球ほど怪我が少ない競技はないと思うからだ。そんなわけで、水球の新しいキャッチフレーズを考えてみた。『水球は、重力から解放された唯一の球技』

水球のプレイやムーブの自由度の高さ、水の中の気持ちよさを表現してみた。激しさキツさをアピールするより、自由さ気持ちよさをアピールの方が今日的だし、より多くの人に興味を持ってもらえると思うのだがどうだろう。共感してもらえるなら「水球は、重力から解放された唯一の球技」とアピールすることを明日から始めてみてほしい。

秀嶋 紗千子 (H26 大 sw)

私が入部した当時の水泳部競泳部門は3年生で引退していることが多く、部員も少なく、男女あわせて10人ちょっとしかいませんでした。そんな中、私の同期はマネージャーもあわせて14人入部し、当時の主将、福岡大祐さんの声かけのもと、個人の成績も関東大会での大学の成績もあげることが目標に日々みんなでモチベーションを保ちながら練習をしました。先輩、後輩にも恵まれ、私が4年生の夏、引退する時には男子は2部に昇格することができ、部員も全学年あわせて50人程の大所帯になっていました。辛い練習も今、思い返すと仲間と一緒に頑張った良い思い出になっています。4年間という、長いようであっという間の時間を大切な仲間と切磋琢磨し、楽しく過ごしてください。

物故者(敬称略)

岩村和俊 (S27 大 po) 2023

江村茂明 (S51 大 po) 2023. 10. 29

ご冥福をお祈り申し上げます。

年会費納入のお願い

水桜会の活動に引き続きご支援ご協力をお願いいたします。収支詳細は総会資料をご参照ください。

<2024年度年会費納入のお願い> 男女共通 10,000円 (大学卒業後5年は5,000円)

- 自動引落の方 : 2024年5月下旬にみずほ銀行より引き落とし

- 自動引落以外の方 : 2025年1月末日までに以下へ振込

みずほ銀行 店番 532 (九段支店) 普通 2134557 水桜会

ゆうちょ銀行 店番 019 (〇一九店) 当座 0654842 学習院水桜会

会計 小池 純子 (H12 大) 連絡先 : 090-7413-4382

桜友会ホームページに、「総会議事録」「水桜会だより」「現役レポート」「特別寄稿」等を掲載

※こちらのQRコードよりご覧いただけます。



<水桜会事務局>

渡邊 マリ (S48 女高)

e-mail:mrwtbn0109@md.point.ne.jp

145-0065 東京都大田区東雪谷 2-26-8 電話 070-5451-9148

水桜会 HP

(公式LINEのQRコードとは別です)